

■井上準之助 <関東大震災>後をモラトリアムで切り抜け、金解禁・デフレ政策を実行、<満州事変>後に暗殺された。

いのうえじゅんのすけ

戊辰戦争終・1869＝ 日田県(大分県日田市)に生まれ、

明治6年政変 1873＝ 4歳：

大久保暗殺・1878＝ 9歳：

明治14年政変1881＝12歳：

国民之友始・1887＝18歳：

帝国憲法発布1889＝20歳：

二高を経て、

帝大法科卒。

日清戦争始・1894＝25歳：

白馬会・・・1896＝27歳：_日本銀行に入行、

八幡製鉄始・1897＝28歳：イギリス・ベルギーに留学、

帰国して

高橋是清の推挽を得て、

日露戦争終・1905＝36歳：大阪支店長、

満鉄発足・・・1906＝37歳：営業局長と、_異数の栄進をし、

ニューヨーク代理店監督役を経て

大逆事件判決1911＝42歳：_横浜正金銀行に入り、

明治天皇没・1912＝43歳：

常務、副頭取を経て、

大正政変・・・1913＝44歳：*横浜正金銀行頭取になると、

第一次大戦始1914＝45歳：

_第一次大戦当時の国際金融を処理、

ベル仁条約・1919＝50歳：*東大出身としての初の日銀総裁となり、戦後の金融にあたる。

大暴落・・・1920＝51歳：_第一次大戦後の恐慌時およびその後、財界は不況に沈み、興銀を通じて5百万円の資金を電気事業、化学工業方面に融通したのを手はじめに、政府に働きかけて預金部資金のうち4千7百万円を興銀を通じて産業界の救済のために放出させた。この後も企業の救済を重ね、日本銀行と自らの財界の地位をたかめる。

原敬首相暗殺1921＝52歳：

関東大震災・1923＝54歳：関東大震災の直後、*第二次山本権兵衛内閣の蔵相となり、モラトリアム(支払猶予令)を施行し、また震災地振出の手形などについて日銀が再割引するという震災手形制度を創始し、また復興予算の立案にあたったが、虎の門事件で内閣は総辞職し、貴族院議員に勅選されて外遊した。

浪人時代も財界の世話をやくかわら、大日本連合青年団理事長となり、金融制度調査会に参加し、

金融恐慌・・・1927＝58歳：_金融恐慌にあたっては台湾銀行の救済につとめ、そのために特設された台湾銀行調査会の会長となった。金融恐慌後の政友会内閣における高橋是清蔵相のもとで、再び日銀総裁となり、恐慌後の資金の特別融通および休業銀行の処理と昭和銀行の発足に尽力。

世界恐慌・・・1929＝60歳：_民政党浜口内閣の蔵相となり、全力をあげて金解禁の準備を行い、解禁実施を決定した。しかし緊縮政策と、世界恐慌の結果、日本経済ははげしい不況に襲われ、ロンドン軍縮条約問題と相まって政局は緊張。

満州事変・・・1931＝62歳：_第2次若槻内閣成立後も蔵相にとどまり、<満州事変>勃発後、イギリスの金輸出再禁止にあい、ドル買い問題が惹起され、ドルの統制売りを行いつつ金利を引き上げてドル買い筋に立ち向かったが、安達内相の協力内閣運動がおこり、総辞職した。その後、民政党筆頭総務として総選挙の対策にあたるうち、

五一五事件・1932＝63歳：*血盟団の小沼正にピストルで狙撃され、暗殺された。